

京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

京丹後市

2. 平成24年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

| 支援区分 | | 事業名・実施項目 | | | | | | | |
|------------------------|--|----------|----------------------------------|--------|--------|--|--|--|--|
| 広域連携事業 | | 文化振興推進事業 | | | | | | | |
| 事業着手前 | | | | | | | | | |
| 課題・現状 | 文化、芸術活動に対する関心が高まる中、発表する舞台が無い、優れた芸術文化に触れる機会が無いなどといった住民ニーズに対応するため、市域、町域、世代を越えた丹後圏域の広域連携により2市2町で構成された丹後文化芸術祭実行委員会を支援し、幅広いジャンルで文化芸術活動を促進する必要がある。 | | | | | | | | |
| 事業概要 | 市民の豊かな心を育み、生きがいのある生活を送ることができるよう地域の生活文化を育て、ゆとりと潤いのある地域づくりを推進するため、丹後文化芸術祭実行委員会が開催する、市民のライフステージに応じた文化・芸術活動の交流、各種展示会、発表会及び研修会を支援する。 | | | | | | | | |
| 期待される事業効果等 | 丹後圏域の文化芸術活動を広域で発表し、優れた文化を互いに鑑賞することで、交流の輪が広がるとともに、参加者の技量、技術の向上が図られ、丹後地域の活性化が期待できる。また、広域連携によるコスト削減により財政負担の軽減を図ることができる。 | | | | | | | | |
| 事業実績 | | | | | | | | | |
| 取組状況 | 市民のライフステージに応じた文化・芸術活動の交流、各種展示会、発表会及び研修会が実施される丹後文化芸術祭の開催を支援した | | | | | | | | |
| 主な実績数値 (出来高数値等) | 舞台部門(5事業)、展示部門(2事業)、セミナー(2事業)を実施 | | | | | | | | |
| 期待される事業効果等 に対する達成状況 | 達成 | (左の理由) | 広域連携によるコスト削減により財政負担の軽減を図ることができた。 | | | | | | |
| 行革効果 | | | | | | | | | |
| 行革効果の考え方 | 丹後広域で文化芸術祭を行うことにより、効果的な住民参加が期待でき、単独で事業を展開した場合は京都府・2市2町総額以上の事業費が必要と見込まれる。 | | | | | | | | |
| 年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 | | | | |
| 本事業を行わなかった場合に係る経費等(a) | 1,781 | 1,781 | 1,781 | 1,781 | 1,781 | | | | |
| 本事業の実績額(b) | 1,300 | 1,300 | 1,300 | 1,300 | 1,300 | | | | |
| 行革効果(a)-(b) | 481 | 481 | 481 | 481 | 481 | | | | |

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。